

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	おもてなし英会話					所管	教育委員会	
							指導課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	220	計画事業名	おもてなし英会話	事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成					[事業開始] 平成 27 年度	
		[小 柱] (3) 社会を生き抜く力を育てる教育の推進					[終了予定] 平成 32 年度	
		[施 策] ①個性を生かす学校教育の充実						
	根拠法令等	その他	[法令等名]	なし				
	事業対象	指定校の全学年の児童						
	事業目的	外国人来街者の多い地域性を活かして、子供たちの英会話力やコミュニケーション力の向上を図り、豊かな国際感覚やおもてなしの心を身に付けさせる。						
	事業内容	区立小学校の指定校に専属のALTを配置し、休み時間や給食・掃除の時間、遠足などの学校行事等に参加させる。						
委託の有無	一部委託	委託内容		外国人英語指導員の配置業務委託				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	外国語指導助手(ALT)配置日数	(日)	240	-	231	240	
		外国語指導助手(ALT)の配置校数	(校)	2	-	2	2	
	成果指標	対象児童数	(人)	750	-	738	933	
		決算額 (単位:千円)						
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)		-	160	178		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)		-	4,990	5,674		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)		-	0	0		
		総経費		-	5,150	5,852		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)		-	0	0		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)		-	0	0				
一般財源(区負担額)		-	5,150	5,852				
前回評価から改善した事項	配置日数を増加させた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	ALTが外国語活動の時間だけでなく、日常生活にも一緒に過ごせる本事業は、児童の英語あるいは外国人とのコミュニケーションへの抵抗感をなくし国際感覚を育むことが出来るため、必要性が高い。					
	効率性	4	公募型プロポーザル方式により、限られた経費に対して最良の事業提案をした事業者を選定しており、効率的に実施できている。					
	手段の適切性	4	業務委託により実施することにより、指導技術や人材の確保が一定程度保障され、地域人材の活用など他の方法に比べ円滑な英語指導が実施できている。					
	目的達成度	3	授業以外の時間にも児童とALTが英議でコミュニケーションをとることから、多くの児童がリラックスした雰囲気の中で英語や異文化に触れることができている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
2校を指定校として指定し、派遣日数も増加したため、多くの児童が日常的に英語に触れ、英会話力や国際感覚を育むことが出来ており、本事業の必要性は高い。						維持		